



横山 育男



動画配信中

ワクチン接種の対応を問う！



国では3回目のワクチン接種が検討されているが、公費負担となるかどうかは不透明である。今後定期的なワクチン接種が自己負担となった際に本市として補助を検討するべきではないか。

市長

国では3回目のワクチン接種に関する担当大臣の発言もあり、3回目のワクチン接種は2回目までと同様に全額公費負担となる可能性が高いと思われる。しかし、今後ワクチン接種が定期化し、自己負担を伴う状況になったときには適切な対応をしていきたい。

◆山姥切国広の展示を生かした地域活性化



山姥切国広を展示する市制100周年記念特別展が開催されるが、地域との連携や山姥切国広が登場するゲームとのコラボレーションをどのように考えているのか。

産業観光部長

多くのお客様のご来場が期待されることから、地元商業会や観光協会等と連携しおもてなしと地域活性化につながるしくみづくりを官民一体で進めていく。また、ゲームとのコラボレーションについても実現に努めていきたい。



柳 収一郎



動画配信中

太陽光発電施設設置規制の強化を！



太陽光発電施設の設置に伴う森林伐採や斜面への設置による土砂災害を防ぐため、設置に対する規制を強化すべきではないか。

都市建設部長

本市では太陽光発電施設等の設置に関して平成29年に県内で2番目となる条例を制定し、設置事業の許可や届出、近隣住民等に対する説明会の開催などを規定した。規制の強化については、今後国の動向等を十分に勘案して適宜、検討していきたい。

◆感染拡大防止の啓発



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を呼びかける立て看板を設置し、ドライバー等に啓発すべきと考えるがどうか。

健康福祉部長

感染拡大防止の啓発をより効果的にするには、様々な手法を取り入れ継続的に実施していくことが重要と考える。看板設置による啓発については、市民や他市から訪問する方への呼びかけを強化するため、ドライバーが認識しやすい看板を設置していく。



藤本 秀樹



動画配信中

医療用ウィッグ等の購入費助成を！



がん治療に励む市民の精神的なケアや生活の質の向上のため、医療用ウィッグや胸部補整具の購入費を助成してはどうか。

健康福祉部長

がん治療による脱毛等の外見的な変化を補う医療用ウィッグ等は生活の質の向上や社会参加を促すために必要であると考えている。県では医療用ウィッグ等の購入費用を補助する栃木県がん患者支援推進事業を新設したことから本市においても県内の状況を調査し、助成の在り方について積極的に検討していく。

◆奨学金返還支援制度の導入



県ではすでに同制度を導入しているが、本市も導入することで若者の移住定住につながるかと考えるがどうか。

総合政策部長

県の制度では卒業後の県内への就職が条件となっており助成に至らないケースが多いと聞いている。一方で市町村が導入した場合には就職要件がないというメリットがあるため、今後、メリット・デメリットを考慮しながら導入している他市の状況や実績を踏まえ研究していきたい。